

事務事業事後評価表

〈基本情報〉

事務事業の名称 【1】	職員の任免及び定員管理事務		所管課 【2】	総務課
			評価者(担当者)	下田 啓司
総合計画での位置付け	基本目標(章)	⑥みんなで進める協働のまちづくり		
	主要施策(節)	(5)行財政運営の効率化		
	施策区分	(3)職員の計画的人事配置と育成		
【3】	(市民意識調査結果)	<input checked="" type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input type="checkbox"/> 【D】維持領域		
実施の根拠 (複数回答可)	【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 地方自治法、地方公務員法 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 定員適正化計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし		
事業区分	【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 義務的的事业 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務		
会計区分	【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 〕 款 2 項 1 目 1 細目 14		

〈事務事業の目的〉

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか)	【8】	職員の任免について、地方公務員法や条例、規則等により適正に実施する必要がある。また、簡素で効率的な行財政のしくみを構築するために、定員の適正化を図っていく必要がある。
対象(誰、何に対して)	【9】	特別職、一般職員、臨時職員、非常勤職員等
意図(どのような状態にしたいのか)	【10】	適材適所の職員配置を行い、服務規律を確立することで職員の意欲、公務効率の向上を図る。

〈事務事業の概要〉

事業期間	【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】																		
事業主体	【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】																		
実施方法	【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】																		
事務事業の具体的内容	【14】	職員(特別職、一般職員、任期付職員、再任用職員、臨時職員、非常勤職員)の任免に関する事務、職員定員適正化計画の策定及び計画に基づく職員数の調整。																		
		⇒ <table border="1" style="float: right; margin-left: 10px;"> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">事務事業を構成する細事業</th> <th style="text-align: center;">【15】</th> </tr> <tr><td style="text-align: center;">①</td><td>定員管理事務</td><td></td></tr> <tr><td style="text-align: center;">②</td><td>人事異動事務</td><td></td></tr> <tr><td style="text-align: center;">③</td><td>臨時・非常勤職員の任免事務</td><td></td></tr> <tr><td style="text-align: center;">④</td><td>職員募集事務</td><td></td></tr> <tr><td style="text-align: center;">⑤</td><td>任期付職員採用事務</td><td></td></tr> </table>	事務事業を構成する細事業		【15】	①	定員管理事務		②	人事異動事務		③	臨時・非常勤職員の任免事務		④	職員募集事務		⑤	任期付職員採用事務	
事務事業を構成する細事業		【15】																		
①	定員管理事務																			
②	人事異動事務																			
③	臨時・非常勤職員の任免事務																			
④	職員募集事務																			
⑤	任期付職員採用事務																			

〈事務事業実施に係るコスト〉

			H24年度決算	H25年度決算	H26年度決算	H27年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金					
		県支出金					
		起債					
		受益者負担					
		その他(別途臨時非常勤計上)					
		一般財源		2,178	3,292	3,259	978
	【16】 小 計		2,178	3,292	3,259	978	0
		[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)		1,859	3,001	1,854	180
職人 員 の 費	職員人工数		1.19	0.88	0.61	0.61	
	職員の年間平均給与額(千円)		5,610	5,424	5,424	5,424	
	【17】 小 計		6,676	4,773	3,309	3,309	
合 計			8,854	8,065	6,568	4,287	

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H24実績	H25実績	H26実績	H27計画
① 定員管理事務	定員適正化計画の策定、計画の実行	職員数	人	547	538	526	514
② 人事異動事務	人事異動の実施	異動職員数	人	202	208	223	200
③ 臨時・非常勤職員の任免事務	臨時・非常勤職員の任免	臨時職員及び非常勤職員数	人	619	636	518	500
④ 職員募集事務	次年度の新規採用職員を募集する。	新規採用職員数	人	8	9	7	9
⑤ 任期付職員採用事務	任期付職員の任免	任期付職員数	人	1	3	3	3

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H24目標	H25目標	H26目標	H27目標
			H24実績	H25実績	H26実績	H27実績
1 定員管理適正化計画に基づく職員数削減の達成率	定員管理適正化計画の目標値÷実績×100	%	100	100	100	100
			101	101	101	
2						

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定)	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 問題なし	
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) A	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	<p>現在、定員適正化計画の目標以上に推移しているため、現状のまま継続する。しかしながら、定年延長の開始時期によっては、計画の大幅な見直しが発生すると思われる。また、平成28年度には、第3次職員定員適正化計画を策定する予定である。</p>
昨年からの見直し・改善状況【32】	<p>平成26年度については、社会人枠で土木施工管理士を1名、社会福祉士を1名採用した。再任用の義務化に伴う再任用短時間勤務職員(新規)は任用なし(募集なし)。</p>

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	<p>数値的には、職員定員適正化計画に基づいた任用が確実に実行されている。今後も再任用の義務化、定年延長など国の動向に注視し、行政の高度化、多様化に対応すべく適正化計画を重視し、効率的な採用、人事配置を行っていく。</p>	評価責任者 瀬崎 正治
------------------	---	----------------